

編 集 後 記

■「卒業シーズン」

今年も卒業のシーズンが来た。卒業・入学、退職・就職、人事異動、送る人・送られる人、様々な出会いと別れ、ゴールとスタートがそこにはある。各々が「心機一転」、「意気揚々」、「名誉挽回!?!」様々な思いを胸にスタートラインに並ぶ。

かく言う私も「卒業生」である。2年前、某市より研修生として市町村課にお世話になり、この春卒業を迎える。たかが2年、されど2年、しかし紛れもなく一期一会。振り返ればそこには多くの出会いと数々の喜怒哀楽があった。それは自分自身に深く影響を与え、大きく成長させるものであった。あらためて人の繋がりの大切さを痛感した2年間であった。4月より、団体に戻り新しい職場に配属されることになるが、市町村課での経験を胸に、ただ元の場所に「戻る」ではなく、気持ちを新たに「ゼロ」からのスタートで臨みたい。

また、皆様にとっての新年度が、なるべく「怒」「哀」のない「喜楽」な1年になるよう祈っています。2年間、本当にありがとうございました。(H. N)

■我が家の一人息子が今年の2月に1歳を迎えました。

ついこの間までは産まれたての赤ん坊だったはずが、今では嬉しそうにハイハイで家中を行ったり来たりしながら笑ったり泣いたり

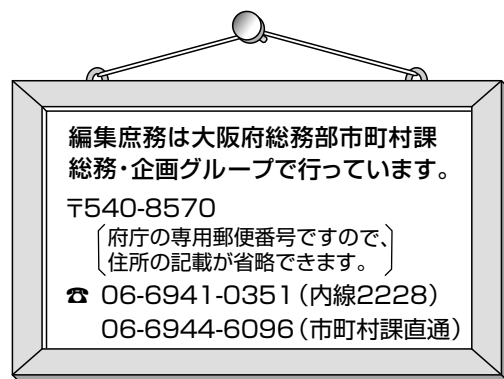
する姿に、人は1年でこんなに成長するものかと改めて感心しています。

父親である私も市町村課に来て早や1年が経過しようとしています。さてどれくらい成長できたのでしょうか。

息子に負けないように、しっかりと成長したいと思います。(K. N)

■3月といえば、卒業、退職をはじめとする別れの季節。私自身も2年間の研修を終え、この春、卒業します。2年間、多くのことを学び、そして多くの人に出会うことができた実り多い研修生活でした。仕事や人との別れ以外にも、2年間慣れ親しんだ狭い机、そして夏は暑く、冬も寒く、倒壊の恐れがある執務室との別れも悲しいものです。

4月からは、希望を抱いた新しい研修生が来られます。2年後には私のように充実した研修生活であったと言えるよう、がんばって欲しいと思います。(M. N)



サマージャンボ宝くじ

オータムジャンボ宝くじ

～市町村のまちづくりに役立っています～

月刊「自治大阪」の発行は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用しています。

